

## 入学式 式辞

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。またご父母、ご関係の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。本日ここに376名の学部新入生並びに12名の大学院入学者をお迎えして入学式を挙げることは京都薬科大学にとって大きな喜びであります。ご入学に際し、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

今から4年前、2020年が始まってすぐ、日本で最初の新型コロナ感染者が確認されました。その後何回かのパンデミックが繰り返され、日常生活に大きな制限が課せられた時期もありました。現在、ようやく大きなパンデミックは見られなくなりましたが、感染再拡大の懸念はまだ残っています。また、新たな感染症の出現や、すでに終息したと考えられていた感染症の再出現も懸念されています。21世紀における科学技術の飛躍的な進歩にもかかわらず、根本的な治療法がない疾患や感染症はまだ多く残されているのです。様々な種類のがん疾患をはじめとして、新型コロナに代表される新たな感染症、アルツハイマー病をはじめとする脳・神経疾患などです。

京都薬科大学における6年間の学びは、このような現実に対応できる薬剤師となるための基礎を作るためのものです。国家試験に合格し薬剤師として様々な形で社会への貢献を始めるために必要な薬学の基礎から臨床に関する知識の習得や実践です。これらの学びは、卒業後にも日々更新される学術的知見に対応するための基盤ともなります。さらに、学部で得られた知識と経験を学術的に昇華させ、広く世界に通用する知見とするのが大学院での学びです。

これまで皆さんが高校で取り組んできた問題には、考え方の筋道がすでに用意されており正解がありました。大学での学びがこれまでの学びと大きく異なる点は、答えのない課題に取り組むようになることです。課題解決に必要な知見が得られていない場合も多くあります。そのため、様々な解釈が可能で、一つの正解を得るどころか、間違った答えにたどり着くことも多くあるのです。少し古い例ですが、1890年代に流行したインフルエンザの一種であるロシアかぜでは、病原菌としてインフルエンザ菌が特定されました。インフルエンザの原因が細菌であるとされたのです。当時は様々な感染症の原因となる細菌が次々と同定されていたこともあって、このような結論に至ったのです。さらに、この菌に対するワクチンも作られたのですが、1918年にパンデミックを起こしたスペイン風邪には当然ながら効果がありませんでした。このパンデミックの後、ウイルスの存在が広く認められるようになって初めてインフルエンザの原因がウイルスであることが解明されたのです。現在でも同じような可能性が残されていることをぜひ心にとめておいてください。

一方で、大学時代は自己の内面に向き合う最適の時期でもあります。勉学はも

もちろんですが、クラブ活動・ボランティア活動・アルバイトなど様々な活動にチャレンジしてください。海外を自分自身で経験することや、今まで縁のなかったジャンルの読書にトライすることで新たな認識を得てください。大学院を修了した後は、ぜひ海外の研究室を経験し研究に対する多様な取り組み方を体感してください。

京都薬科大学の建学の精神は『愛学躬行』（学問を愛し、自ら実践する）です。学部の皆さんはこれからの6年間で、自らの手を動かし心と体で大学の学びを吸収してください。大学院の皆さんは、学部で経験した研究をさらに自身のアイデアで深め、新たな学術の進展に寄与する研究に邁進してください。ここで、私から一つお願いがあります。学部は6年、大学院は4年で終わってください。自分なりのやり方で各学年を一つずつ確実にクリアし、新しい課題に向きあう6年間あるいは4年間で過ごしてください。本学のすべての教職員はそのための援助を惜しみません。

4年後、6年後に皆さんが晴れやかな笑顔で学位授与式に臨まれるときを楽しみにしています。

本日はご入学、誠におめでとうございます。

2024年4月1日  
京都薬科大学長 赤路健一